

「失われた 30 年を失われたままにしないために」

都城東高校2年 ブランド ウズマ

会場の皆さんは現在カップラーメン一杯の価格をご存じでしょうか。

数年前ある政治家の発言が物議を醸したことは私たちの世代でも知っているくらい有名な話です。一笑にふされるような話ではありません。私たちの生活を支えていく重責を担う政治家が国民の生活水準について理解していないということがあっていいはずがありません。

とはいえそういった政治家を選んでいるのは私たち国民です。この件では政治家の資質をあげつらう意見ばかりがクローズアップされましたが本当に重要なことは「選挙が機能していない」ということなのです。

選挙そのもののシステムがはらむ問題点もなくはないと思いますが、私たちが考えなければならないことは「生活と選挙」がどれほど密接な関係にあるかという点です。

そもそも私たちの世代はバブル経済崩壊後の「失われた 30 年」の中で誕生しています。したがって物価は安いが賃金も低いといった状況が当たり前の中で生活してきました。

1985 年のプラザ合意が契機となった急激な円高ドル安による銀行金利の引き下げが国内通貨流通量を増やし、それが不動産投資に注がれた結果不動産価格の高騰によりバブル経済が発生したこと、このことに政府は政策金利を引き上げ、同じタイミングで湾岸戦争の勃発による原油価格の高騰が重なり、不動産の売却が一気に起きたことで株価の大暴落が発生しバブル経済が崩壊したことは授業で学びました。

しかし、今この流れを私たちのような高校生でも学べばそうなることが分かっているのに防ぐことができなかったことを考えると、社会全体の勉強不足といわざるを得ないようにみえます。

現在まで続くこの状況を私たち国民は政治家の責任だけにしがちです。しかし、先に述べたように、それらの政治家を選んだのは国民です。であるならば、人選を誤ったのではなく、国民の勉強不足を嘆くべきです。

「国や地域をまとめるのは自分たちではない。政治家の仕事だ。」「税金から歳費を受けているのだから身を粉にして働くのは当然だ。」概ねこの考えに異論はありません。しかし政治家任せにしてしまっている問題ではないこととその政治家を選ぶことで自分たちの生活が大きく変化することは学ばなければならないはずで

す。歳費の話が出ましたので、例えば財政について考えてみましょう。租税を国や地方の様々な事務の運営・掌握のために運用していくことを財政とよぶのはいうまでもありませんが、その運用用途についてどれほどの国民が理解しているのでしょうか？そもそも興味・関心すら持っていない人々が多くを占めるのではないのでしょうか？それでいて自分たちの生活水準が改善されないと声高に政府を批判するだけというのは、弱い犬ほどよく吠える理論に他ならないことです。

国家情勢を分析し、今最重要なことは景気対策なのか社会保障なのか、どのレベルの公共事業をどの期日までに達成させるのか、地方分権といいながら丸投げにしていることで地域格差が生じ限界集落の問題が発生していることにどう対応していくのか・・・こういった一朝一夕に解決しない問題を担っていく政治家の登場が待望されて久しいですが、それを生み出すのもまた私たち自身であることをゆめゆめ忘れてはなりません。

政治が生活に反映される、政策によって国民の福祉が向上する・・・こういった好結果につなげるためにはまず国民が学ぶこと。そのための教育が最重要です。

政治や経済のシステムに終始せず、歴史・宗教・社会に存在する利害関係まで学んで学んで学びきった先に理解と正しい判断力が生まれます。その判断力こそが正しい政治家を選ぶ意味のある選挙につながり、ひいては国民生活の安定と向上となり還元

されるのです。

バブル経済の崩壊に始まる「失われた 30 年」は多くの学ぶチャンスを与えてくれました。

平成不況にはじまり金融ビッグバンによる護送船団方式からの転換、リーマンショックに対応するためのアベノミクスによる金融緩和・財政出動・成長戦略の 3 つの柱。その一つ一つを丁寧に学べば、労働人口の減少や消費者の消費行動そのものの減退など多くの問題点が国民目線でも見えてくるはずです。

さらにこうした学びの延長にはその対策を考える能力とともに将来を予見し防止する能力もついてきます。国民一人一人が完璧とはいかないまでも現行の学びと理解度の水準を 10%でも向上させることができたら社会は大きく変わります。

「政治は選挙から変わる」それは紛れもない事実です。

しかし、「選挙は教育から変わる」こともまた揺るぎのない真実であることから目を背けず、過去の分析から将来のビジョンを描き出していくことこそが失われた 30 年を取り戻す唯一無二の方法です。

私たちの生活の未来のために選挙に行きましょう!それ以上に学ぶ手を止めることをやめましょう!

一歩ずつ学びを蓄えていくことが未来を変えるのです!!